



岳人あびこ 25周年を祝う会



令和4年1月10日午後1時～

我孫子市民プラザホール

岳人あびこヒストリー：創立 25 周年に寄せて

外崎 蓮

1996 年 10 月、雨のそば降る会津朝日岳のテントの中で、山好きの同志 8 人が新しい会「岳人あびこ」の創立を宣言しました。山、沢、岩、雪山などを安全に楽しむためには、それに必要な知識や技術を習得しなければなりません。直ちに千葉県勤労者山岳連盟に加盟し、県連の研修や加盟団体との交流を通して、豊かで質の高い山の会創りに励んできました。

会則にもありますように「安全登山を基礎に、一人ひとりの好みと能力に応じた楽しい登山を目指し、自然との関わりを通して仲間との親しみを育むと同時に豊かで質の高い登山を目指す」と、会の理念が高らかに唱いこまれています。この理念は、25 年の年月を経ても変わることなく当会に根付いています。

会員の高齢化もあり、「質の高い登山を目指す」というハードルは年々高くなっていますが、あとに続く方々に委ね、「岳人あびこ」が今後もずっと私たちの生きがいであることを願っています。



会次第

11：00 12：00～受付 (石塚・桐生)	・開場	
13：00～開会 司会（秋山）	・開会のことば ・会長あいさつ ・来賓あいさつ	中村育子 高橋芳恵 広木国昭様 野田久生様 石垣吉朗様
13：20～出し物 司会（中村）	・笑い神社より「笑う門には福きたる」 ・獅子頭の厄払い（新人歓迎）	福きたよさん 本田愛子
13：40～14：00	休憩	
14：00～15：30 司会（小山）	講演会 演題「日本の山から南極へ」	樋口和生様
15：40～15：50	休憩	
15：50～16：20 司会（石塚）	・記念山行部報告 ・記念品部報告 ・カレンダー掲載用入選写真発表 ※入選写真映写	北田仁則 新谷直恵 大山冬臣・千葉有子
16：20～16：30 司会（石塚）	・閉会のことば ・記念撮影	室崎宏治 カメラ：白崎哲史
16：30～17：00	・後片付け（備品返却と清掃） ・解散	参加会員・会友

(会員敬称略)

来賓紹介

- ◆ 広木国昭氏 千葉県勤労者山岳連盟会長
- ◆ 野田久生氏 千葉県勤労者山岳連盟理事長・かがりび山の会会长(柏市)
- ◆ 石垣吉朗氏：「岳人あびこ」第5期生として入会、市民登山やウイズハイク実行委員長として活躍し、2011年度と2012年度の会長を務められました。

岳人あびこ創立 25 周年記念に寄せて

岳人あびこ会長 高橋芳恵

おかげさまで岳人あびこは 25 周年を迎えました。昨年のコロナ変異株が猛威を振るう春から、私たちは肅々と茨城の山をめぐる記念山行、記念 T シャツ・記念イベントと担当ごとに準備を進めてきました。コロナで中止などというマイナス思考はありませんでした。今ここにこれまで岳人あびこを立ち上げ、支えていただいた諸先輩の尽力に心から感謝し、これからも安全登山と自立した登山者として技術を学び続けていくこと、そして何よりも楽しく豊かな登山と人生を目指すことを祈念し、全会員・会友でイベントを開催いたします。

岳人あびこ 25 周年記念イベントに寄せて

25 周年記念事業実行委員長 室崎宏治

岳人あびこのみなさまこんにちは。

本日は、先人、先輩たちの努力の糧とともに、岳人あびこ 25 周年のお祝いがこのようになりますこと、皆さまと一緒に祝えますこと、大変感謝します。ありがとうございます。大変うれしく思います。よろしくお願ひします。また、地元我孫子ができることが、ありがたいと思います。

生きるということは大変なことなんだよと思います。

また、25 周年記念事業を行うにあたって、会員みなさまの、今まで目に見てなかつた隠れた力を、いろんなところで能力個性を、見ることができました。記念品のデザインや、15 の茨城県の山行計画や実施、記念カレンダーの企画およびイベントなど、いろんなところで発揮していただきました。講演には、国立極地研究所の樋口和生氏による、「日本の山から南極へ」という演題でお話を伺います。25 周年事業に相応しいお話だと思います。「温故知新」という言葉がありますが、古き事を学びながら新しいことにむかって、これから 30 年に向かって活動していきましょう。

今日はおめでとうございました。

祝辞

岳人あびこ 25周年によせて

千葉県勤労者山岳連盟会長 広木国昭

岳人あびこの皆さん、会創立25周年おめでとうございます。

千葉県勤労者山岳連盟を代表して、25周年を迎えたお祝いと千葉県連盟への参加ご協力にお礼を申し上げます。

唐突ですが、私は「岳人」「あびこ」の響きに惹かれます。

「岳人」は、ちょっとそこらの山屋とは一味違う硬派のイメージです。

25年前、岩・雪山のバリエーションルートを極め登山のオールマイティーをめざした、柏・我孫子地域の山好きの心意気を感じます。

そして、何より山への情熱と仲間を大事にして来た25年、ベテラン会員から登山技術はもちろん山・自然を大事にした会活動を継承している事が素晴らしいです。

それらが安定した会活動を積み上げて、現在の「岳人あびこ」があるのだと思います。

千葉県連盟は、2016年に創立50周年の節目を迎えました。

次の50年を迎えるには、幾つかの課題を克服しなければなりません。

まず、会員数の減少があります。これには幾つかの要因がありますが中でも深刻なのは会員の高齢化です。山仲間といつまでも楽しい山行を続けるためには、何が必要か、どうすれば良いのか等を会員の皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。

会と会員を大事にして、楽しい登山を追及している「岳人あびこ」の活動を参考にして頑張って行きたいと思います。

無事故で楽しい山行を、仲間と共に、何時までも続けましょう。



出し物の紹介

笑い神社「笑う門には福きたる」

小山三恵

岳人あびこ創立25周年を祝い今年の山行の無事を占うため、
笑い神社から福きたよさんが弟子の福くるよさんを連れて来てくれました。
おみくじの結果はいかがでしょうか？

福きたよさん（笹子織江さん）

- ・Laughter Yoga International University 認定笑いヨガティーチャー
- ・あびこ☆笑いヨガクラブ主宰

毎月第1・第3土曜日　けやきプラザ　開催時間 10:00-11:15

獅子頭の厄祓い

本田愛子

獅子舞とは魔除け、厄除け、邪気払いをする意味があります。

獅子が舞って魔除けと邪気を払い、頭を噛んでもらうのは邪気を食べてもらうことで、1年間の安全と幸福を祈願する意味です。

前の年の12月に眠っている獅子を起こす行事と正月の明けに獅子流し（獅子が食べた厄を川に流す）の行事を行います。これは全国様々ですが

私の習った会は、江戸囃子です。本来は笛、太鼓、鐘の音で、おかめ、ひょっとこの踊りを混ぜて最後に獅子が舞うお祭りの出し物にもなっています。

今回のイベントでは、テープでお囃子を流し、獅子舞の一部のみでお願いしました。（引退して獅子舞ができないので…）

講演会講師プロフィール

樋口 和生氏

ひぐち かずお

大阪府出身、1962年生まれ 北海道大学農学部卒
 国立極地研究所南極観測センター設営業務担当マネージャー
 北海道山岳ガイド協会顧問、雪崩事故防止研究会副代表、北海道
 山岳レスキュー研究会代表
 大学在籍中は山岳部に所属し、北海道内の山を中心に活動。学生時代から4度ヒマラヤ
 登山を楽しむ。
 山岳ガイドを経て、2008年より南極観測に携わり、2012年から国立極地研究所南極観
 測センターに勤務。



著書

最新雪崩学入門(共著、山と渓谷社)、決定版雪崩学(共著、山と渓谷社) など

主な活動

- 1984年 インド スダルシャンバルバート峰 (6,507m) 第2登
- 1992年 ネパール ヒムルンヒマール峰 (7,126m) 初登
- 1998年 ネパール グルカルポリ峰 (6,891m) 登山隊長
- 2002年 ネパール イムジャツェ峰 (6,189m) 登山隊長・登頂
- 2005年 台湾特殊救助隊 (厳冬期救助訓練統括コーディネーター)
- 2008-10年 第50次南極地域観測隊越冬隊員
 (野外観測支援担当隊員として観測隊の野外行動全般の安全管理を担当)
- 2010-12年 第52次南極地域観測隊越冬隊員
- 2015-17年 第57次南極地域観測隊越冬隊長
- 2022-24年 第64次南極地域観測隊越冬隊長に決定

記念事業部会報告

創立 25 周年記念山行シリーズ「茨城の山を歩こう」をおえて

記念山行事業部会委員長 北田仁則

岳人あびこ創立 25 周年記念山行シリーズ「茨城の山を歩こう」が、盛況裏に幕を閉じた。2021 年 4 月、記念山行準備委員会で検討を開始した時は、新型コロナ感染第 4 波のただ中で、秋の創立記念日（10 月 10 日）頃の山行が出来るだろうかとの不安があり、感染が下火になっていなければ中止、もしくは来年以降に延期との意見も出ていた。しかし、高橋会長の「難しい状況でもなんとか工夫を凝らしてやろう」との決意に押されて、大勢が山行に参加し山行後打上げ会をやる従来型の計画ではなく、山行回数を多くして 1 山行当たり少人数で実施できるように近場でやろうとの考え方から、今回の「茨城県の山を歩こう」が決まった。

山の選定に当たっては、①標高順 25 座を中心にアクセス、登り安さ、面白み勘案、②前記の基準だけでは県北地域に偏るので、県央、県西、県南地域の山を加えて 16 山行が決定された。準備委員がリーダーとなり、具体的な山行計画を立案、8 月の定例集会で参加者募集したところ、約 180 名が参加を申し込んだ。

夏の新型コロナ感染第 5 波に発令されていた緊急事態宣言が 9 月末に解除され、創立記念山行が本格化する 10 月以降は世間の目を気にしないで山行が出来る雰囲気となつた。

10 月中の山行は、1 山行当たり 10 人程度の山行だったが、11 月から 12 月には 1 山行当たり 20 人の山行が 3 つもでて、尻上がりに賑やかになってきた。

荒天のため 1 山行が中止となり 15 山行が実行された。会員・会友 61 名中、山行に参加した人は 52 名、15 山行の延べ参加者数は 184 人の多きを数えた。8 山行に参加された方が 2 名おられたのを始めとして 5 山行以上の方は 15 名を数え、記念山行を盛り上げた。

参加者の声は、近場でこんなにいい山があったのかと新しい発見に驚き、季節を変えてまた来たいなどと総じて好評だった。

落石のヒヤリハット、ハチ刺され 2 名のトラブルが報告されたが、いずれも大事に至らず何よりだった。コロナ禍で危ぶまれた 25 周年記念山行シリーズを無事に終えられたのも、各山行のリーダーや参加者皆様の努力と協力があってのことでのことで、感謝申し上げる。

山行（15 山行）の男女別内訳

	会員・会友人数 (A)	1回以上参加人数	延べ参加回数 * (B)	平均参加回数 (B) /(A)	1山行当たり参加人数 (B) /15山行
男性	26 (43%)	23 (88%)	57 (31.0%)	2.19	3.80 (31.7%)
女性	35 (57%)	29 (83%)	127(69.0%)	3.63	8.47 (68.3%)
計	61 (100%)	52 (85%)	184 (100%)	3.02	12.27 (100.0%)

* ゲスト参加 1名 (1回) を除く

岳人あびこ 25 周年記念山行(茨城の山) 実績一覧

日時	山名(標高 m)	参 加 者 (*) は会友	G	特記事項
10/9	神峰山～高鈴山～助川山	L 北田、SL 藤家、石塚、新谷、深草、高橋芳、小林隆、秋山、蟹江、吉川、飯合(*) 男性 5 女性 6 計 11 名	2A	
10/16	宝篋山	L 高橋芳、SL 川村、本田、室崎、蟹江、田嶋、小山、飯塚、箕輪力(*)、渡辺(*)、高橋富(*) 男性 1 女性 10 計 11 名	1A	リーダー変更 箕輪完 →高橋芳
10/16	八溝山～池ノ平	L 小島徹、SL 北田、新谷、中村育、一氏、土田、秋山、吉川、大賀 男性 4 女性 5 計 9 名	2A	高篋山は中止
10/23	生瀬富士)～月居山	CL 森岡、SL 深草、高橋芳、石塚、小島徹、細谷、L 郷田、SL 小林安、矢野裕、秋山、土田、吉川 男性 7 女性 5 計 12 名	2B	
10/24	愛宕山～難台山～吾国山	L 藤家、SL 小野、外崎、佐藤清、蟹江、北門、大賀、成島、一氏 男性 3 女性 6 計 9 名	2A	
10/30	三鉢室山～妙見山)～前室山	L 大畠、SL 田村、高橋芳、千葉、矢野貞、本田、村越、北田、小林安、小島徹 男性 2 女性 8 計 10 名	2B	G 変更 2A→2B

(次ページに続く)

岳人あびこ 25周年記念山行(茨城の山) 実績一覧 (続き)				
日時	山名(標高 m)	参 加 者 (*は会友)	G	特記事項
11/6	筑波山	L 郷田、小山、室崎、室崎育(guest) 男性 2 女性 2 計 4 名	1A	
11/6	豎破山・土岳	L 大平、SL 森岡、SL 本田、SL 外崎、SL 矢野貞、秋山、佐藤清、小島徹、大賀、石塚、中村育、渡辺清(*)、高橋芳、飯塚、吉川、田嶋、川村、新谷、桐生、高橋富(*) 男性 5 女性 15 計 20 名	1A	
11/13	加波山～丸山～足尾山～きのこ山	CL 大畠、SL 田村、L 矢野貞、L 本田、SL 中村育、村越、石塚、田嶋、蟹江、松下、深草、一氏、吉川、小島徹、北門、大賀 男性 3 女性 13 計 16 名	1A	リーダー変更 斎田→大畠
11/10	奥久慈男体山～白木山～高崎山	L 矢野貞、SL 大畠、千葉、高橋英、田村、大山、本田、中村育、佐藤健、石塚、秋山、大賀、 男性 4 女性 8 計 12 名	1A	G 変更 1 A→2 B
11/12 ～13	花園山奥の院・栄蔵室～花園山)・和尚山	L 武内、SL 白崎、大平、北田、郷田、細谷、矢野朝、外崎、新谷、小林安、布能 男性 7 女性 4 計 11 名	1B	G 変更 2A→1 B
11/22	上山湯沢峠～笠岩	L 矢野貞、SL 千葉、小林安、田村、佐藤健 男性 1 女性 4 計 5 名	1C	
	奥久慈男体山～袋田の滝	L 村越 <11/22 を予定したが荒天のため中止>		
11/27	仏頂山～高峯	L 佐藤、SL 新谷、SL 大平、SL 高橋芳、小野、小林安、矢野朝、矢野貞、大賀、北田、石塚、田嶋、秋山、蟹江、飯合(*) 男性 5 女性 10 計 15 名	1A	
12/4	御嶽山～雨引山～燕山～加波山	L 本田、SL 高橋芳、SL 大畠、SL 矢野貞、箕輪完、外崎、桐生、村越、石塚、千葉、小野、小林安、田嶋、一氏小島徹、蟹江、深草、飯塚、箕輪力(*)、高橋富(*) 男性 3 女性 17 計 20 名	2A	
12/11	小町山～朝日峰展望公園～雪入山～黒文字平	CL 土田、SL 本田、大畠、田嶋、秋山、飯塚、大賀、L 新谷、SL 石塚、桐生、箕輪完、川村、富井、L 高橋芳、蟹江、小島徹、小山、布能、北門、田村 男性 5 女性 15 計 20 名	2A	

(END)



25周年記念グッズ

記念品事業部会委員長 新谷直恵

25周年の記念品として複数案あったところから、Tシャツに絞り込みました。
さらに発注先をカスタムオーダーを受けつけているモンベルにしました。
登山専用のシャツとしては品質が良かったこと、サイズが9種類、カラーも10種類以上と、選択の幅が広かったのがその理由です。
デザインはメンバーからいくつか提案あったものを形にまとめ、最終的にウェブデザイナーの千葉さんのお嬢さんがデザインを仕上げてくださいました。
岳人あびこの文字は室崎さんの書です。

Tシャツの注文は半袖、長袖合わせて82枚（男性38女性44）
左腕にロゴマークをシルクスクリーンプリントで入れましたが、その印刷代は48290円。会から40000円いただき、不足分8290円はモンベルポイントを当てました。



記念山行写真集 (日にち・集合写真を撮影した山頂名)

	
10/9 神峰山	10/16 宝篋山
	
10/16 八溝山	10/23 生瀬富士
	
10/24 難台山	10/30 三鉢室山
	<p>11/12 村越 L 奥久慈男体山～月居山～袋田の滝 (雨天のため中止)</p>
11/6 筑波山	

	
11/6 土岳	11/10 奥久慈男体山
	
11/13 足尾山	11/12~13 和尚山
	
11/22 篠岩	11/27 仏頂山
	
12/4 燕山	12/11 朝日峠展望公園

25周年イベント事業

イベント事業部会委員長 外崎蓮

4月、25周年記念事業実行委員会の立ち上げとともにイベント事業部委員会が発足しました。イベントをどのような内容にしたいか各委員へのアンケートを実施することから活動を開始し、計5回のZoom会議を通して、12月には現地会場でのシュミレーションを行いました。十分に準備を整え、楽しく、またスムーズに実施できることを期待してイベント当日を迎えます。

活動の概要は次の通りです。

7/14… イベントの内容を、出し物・講演会・写真展とカレンダー制作*の3本柱に決定

8/2… 日程、会場、および講演会の講師を決定

9/6… 時間配分、各委員の役割等を決め、また、イベント当日のプログラム配布を決定

11/1… 最終確認

12/6… 市民プラザホールに集合してシミュレーション実施

(会場内の備品の配置、横看板の調整、スクリーンの高さ、PCスライドショー、音響・照明等の確認・点検を行い、式次第に沿って模擬進行)

*25周年記念写真展、およびカレンダー作成について—千葉有子

募集期間：2021年7月26日（やまたん8月号にて）～12月20日

応募総数：35名の会員から127点の写真

公開方法：・Google共有アルバム「岳人あびこ 25周年 写真募集」にて

・2022年1月10日 「25周年を祝う会」にてスライド上映

・会場に設置したラップトップパソコン、タブレットで公開

カレンダー写真選考：12月7日 選考委員5名（大山、白崎、矢野裕、秋山、桐生）により、表紙、および四季別に写真を選定。12/8以降の応募5点についてはメール連絡にて検討。

カレンダー写真発表：2022年1月10日 「25周年を祝う会」にて

カレンダー作成：12月13日 カレンダー担当4名により、レイアウト決定。→デザイナーにデータ起こし・印刷所発注（写真応募締め切り 12/20以降）を依頼→2022年2月例会(2/1)で会員に配布予定

岳人あびこ 25周年を祝う会記念事業実行委員会

実行委員長 室崎宏治

副委員長 武内勇二

記念山行事業部会 【北田仁則】 武内勇二* 高橋芳恵* 箕輪完二 大畠清江 田村光子
本田愛子 矢野貞子 齊田記代美 村越百々代 郷田進 藤家一仁
佐藤清宏 白崎哲史 森岡正和 小島徹 川村あき子 土田義二

記念品事業部会 【新谷直恵】 高橋英雄 矢野裕子 小林安代 蟹江和子 深草茂美
田嶋まり 小野泰子 矢野朝水 一氏照美 吉川みよ子 飯塚秀子

イベント事業部会 【外崎蓮】 中村育子 秋山稔 桐生恭子 千葉有子 石塚あさ子
細谷秀次 高橋芳恵* 室崎宏治* 小島洋子 富井容 小山三恵
大賀晶子 小林隆

【 】事業部委員長、委員名順不同(敬称略、*兼任

— — —
MEMO
— — —